

事業報告

■製品認証	40
■建築確認検査	41
■性能評価完了案件	
1. 超高層・免震構造等建築物	42
2. 指定建築材料	44
3. 木造の壁倍率	45
4. 図書省略	45
5. 耐火構造・防火設備等	46
6. 防火材料	48
7. 屋根防火構造	49
8. 防火設備の作動性能等	50
■建築技術性能認証・証明	
建築技術性能証明	51
■建築防災計画評定	52
■建築技術安全審査	52
■構造計算適合性判定（法定）	54
評価シート	
■超高層建築物	
・18-022A-005 (仮称) 泉佐野市りんくう往来北計画	55
■免震構造等建築物	
・18-022C-002 (仮称) 瀬戸内海放送新社屋 移転プロジェクト（北棟）	58
■建築技術性能証明	
・第18-04号 FPC-150 工法－高強度鉄筋コンクリート造柱における火災時の爆裂抑制工法－	62
・第18-05号 スクリーフリクシオンパイル工法	
－螺旋状の節を有するセメントミルク補強体を用いた杭状地盤補強工法－	63
・第18-06号 戸田式高強度扁平梁工法－高強度材料を用いたRC幅広梁による構工法－	64
・第18-07号 繊維植込みシートを用いたタイル張付けモルタルの剥落防止工法	65
・第18-08号 ピタットフープアップセットバット溶接による太径せん断補強筋－	66
・第03-12号改2 DCM-L 工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定2）	67
・第09-27号改2 梁貫通孔補強工法（EGリング工法）	
－鉄骨梁の貫通孔周囲をリング状鋼板で補強する工法－（改定2）	68
・第12-07号改2 S S コラム工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定2）	69
・第13-20号改2 ガイアスーパーパイル工法－先端翼を有する回転貫入鋼管ぐい－（改定2）	70
・第17-02号改1 板筋接合を用いたS柱RC梁接合構法	
－RC梁を鋼材を用いた柱に接続する鋼コンクリート構造接合構法－（改定1）	71
・第17-14号改1 家のねっこ工法－既製コンクリート柱状材を用いた地盤補強工法－（改定1）	72
・第12-17号（更2） クロスウィングコラム工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－	73
・第12-26号改（更1） コラムZ工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定）	74
（広告）	
安心・信頼の指標“JISマーク”	40
建築確認・検査 建築物は、GBRC	41
建築構造性能評価委員会について	43
特殊な構造の特定天井に係る性能評価等について	50
建築技術性能証明とは	53
構造計算適合性判定の申請は GBRC へ	54

(一財)日本建築総合試験所
建築技術性能証明 評価シート

<p>【技術の名称】 ピタットフープ －アプセットバット溶接による太径せん断補強筋－</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第18-08号 性能証明発効日：2018年8月7日</p>
	<p>【取得者】 株式会社恵信工業 株式会社興和</p>

【技術の概要】

本技術は、場所打ち杭等鉄筋籠や建築躯体等のためのアプセットバット溶接を利用した帯鉄筋製作技術である。従来のバット溶接は、工場内作業が原則で、D16までの細径が主な対象であるが、本技術は、屋外作業が対応可能な機材を揃えつつ、D25までの太径が溶接可能なものである。

【技術開発の趣旨】

場所打ち杭等鉄筋籠の製作のうち帯鉄筋については、工場製作品の現場納入も可能だが、運搬時の積載密度が小さく運賃が上昇すること、また発注者によっては加工前の鉄筋の現場材料検査を課すことなどから、現場製作が求められている。さらに、鉄筋締結金具による鉄筋籠製作では、帯鉄筋が単独で一体化していないことが原因と考えられる鉄筋籠崩壊事故が散見されている。本技術は、これらを解消するために帯鉄筋を一体化できるアプセットバット溶接技術として開発されたもので、太径に対応し、かつ現場加工が可能であり、帯鉄筋としての信頼性を向上するべく、溶接部の面接触を得るための切断方法、加工時のガイド等様々な工夫を加えている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
申込者が提案する「ピタットフープ 製造要領」に従って製造されたせん断補強筋の溶接継手は、「2015年版建築物の構造関係技術基準解説書」の解説に示された平成12年5月31日建設省告示第1463号に基づく「溶接継手性能判定基準」によるA級継手の性能を有する。

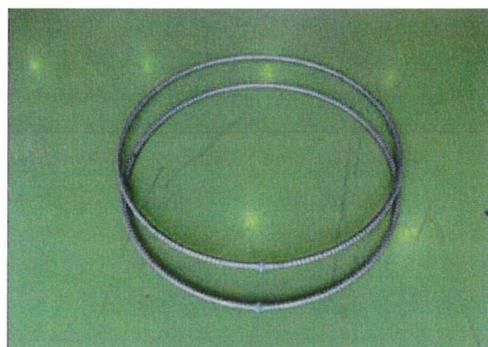


写真-1 製作形状



写真-2 機材設置状況

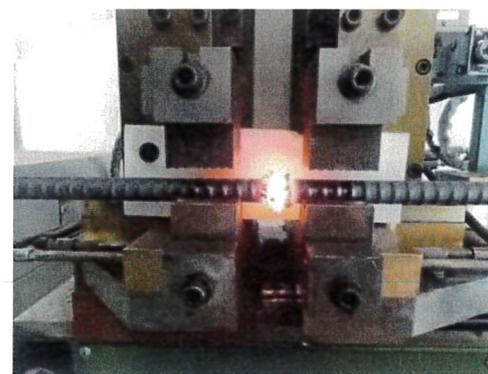


写真-3 溶接状況

【本技術の問合せ先】

株式会社恵信工業 担当者：林 義信
〒123-0845 東京都足立区西新井本町 5-4-5
株式会社興和 担当者：桑原 賢二
〒950-8565 新潟県新潟市中央区新光町 6-1

E-mail：info@keishin-k.co.jp
TEL：03-3880-8101 FAX：03-3880-8101
E-mail：k-kuwabara@kowa-net.co.jp
TEL：025-281-8813 FAX：025-281-8822